

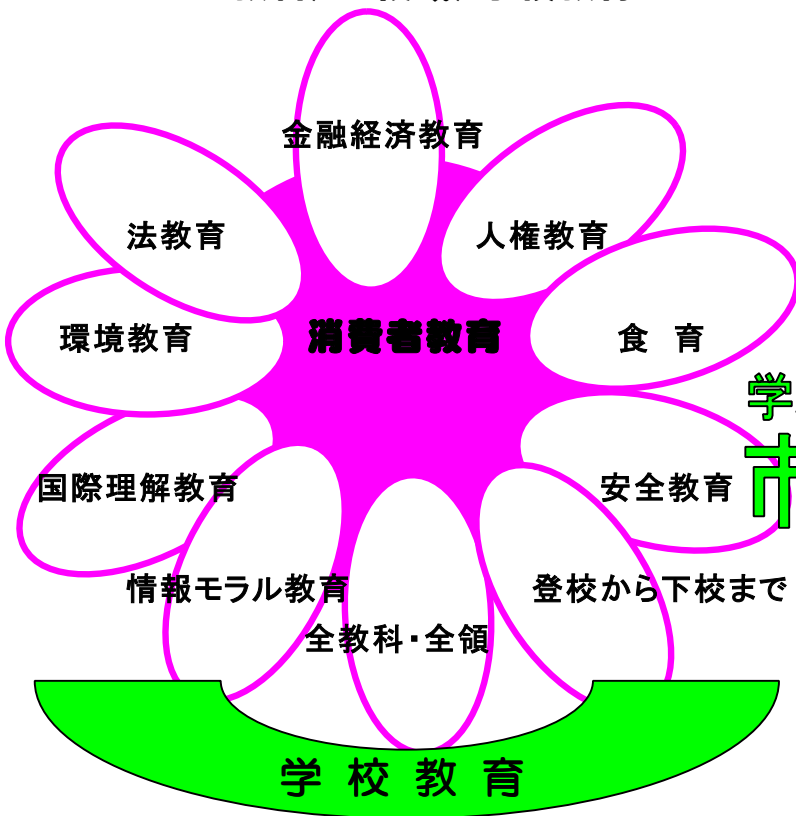
## 柏市消費者教育推進連絡会とは

- ◆目的 柏市の学校における消費者教育の推進
- ◆委員 教育委員会職員，小，中，高等学校の教員
- ◆事務局 消費生活センター
- ◆活動 年3回の会議，研修会，「消費者教育の視点を持った授業」の計画と実践  
柏市の各学校への消費者教育の紹介，支援

2月25日（水）平成26年度第3回連絡会を開催しました

## 「お金」が見えなくても消費者教育

全教科，全領域，学校教育の全てが 消費者教育を含んでいる！



学んだことを消費者として生かす  
**市民がつくる社会**

<教育研究所 齋藤世利子所長（座長）「消費者教育のヒント」から>

イネ！と思って買った商品にこんなストーリーがあったら・・・



美味しく食べられそう！

東日本大震災の被害が大きかった三県の，間伐材を使った箸だった。価格の一部が義捐金になっているそうだ。



使い心地がよさそう…

100%天然素材だった。耕作放棄地を再生し，自然農で栽培された原料で，パッケージは福祉施設で作られた手漉き紙だった。



一番おしゃべりだった

新たな環境破壊，人権侵害の心配が無いリサイクルゴールドと，紛争地の女性組合から取り寄せた宝石が使われていた。



甘くておいしいと薦められ…

売り上げの一部が子ども支援に当てられているバナナだった。作る人の健康や環境にも配慮した方法で栽培されているそうだ。

# 社会を良くする消費 エシカル消費のススメ



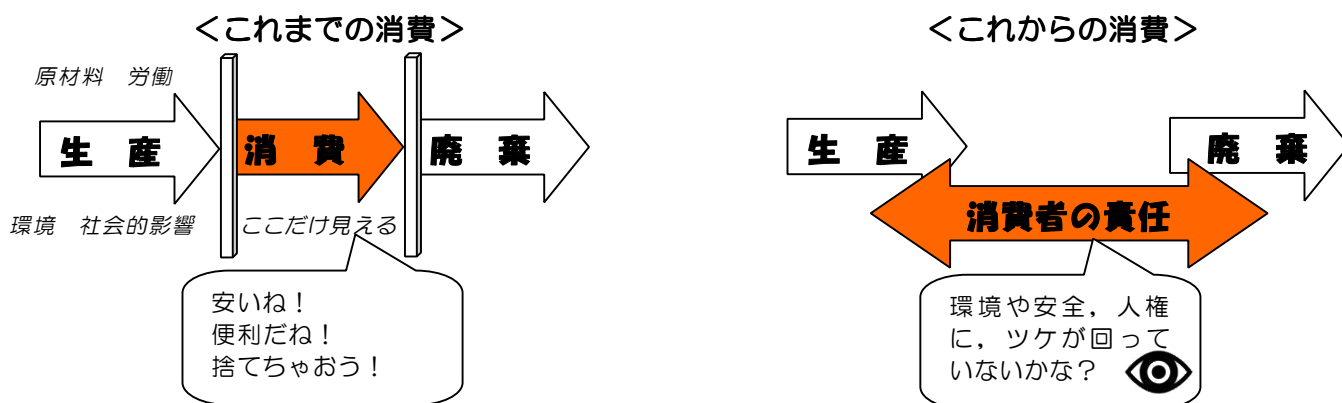
ethical とは、「倫理的な、道徳的な」という意味です

CSR (企業の社会的責任)がご専門の  
(株)大和総研主席研究員 河口真理子氏にお話をうかがいました

企業の中にも、「環境」「人権」「フェアトレード」等に配慮した商品を作ろうとしている人たちがいます。しかし、社内での立場が弱い。それは、売れないから！どんなにエコな商品を作っても、買う人がいなければ企業としては意味がありません。社会を変えるためには「消費者」「企業」そして「投資家」の三者が共に変わる必要があります。

## <エシカル商品とは>

- ◆フェアトレード、エコ、地産地消、被災地応援など、社会、経済、環境、人権などに配慮した商品で、商品にまつわるストーリーがある。
- ◆エシカル消費は楽しくなければならぬ。今のエシカル商品はオシャレだ。
- ◆自分を窮屈にしない。10回に1回でも、みんなが買えばシェアが拡大する。20%のシェアがあれば、企業はみんな参入する！
- ◆買った後も大事。使い方、捨て方まで考えた行動をしてほしい。



正しい行いや人助けのためにボランティアをする、寄付をする等の方法もありますが、普段の生活の中では消費を通じた行動ができます。このエシカルな考え方には若者ほど共感するので、学校教育には非常に期待をしています。

参考：(一社)ソーシャルプロダクツ普及推進協会のサイト <http://www.apsp.or.jp/>  
※ソーシャルプロダクツアワード入賞商品、サービスを見ることができます。

【問合せ】柏市市民生活部 消費生活センター 電話：7163-5853  
【柏市版消費者教育ポータルサイト】  
<http://www.scenter.kashiwa.ed.jp/>

